

2025年3月期 決算短信補足資料 (2024年4月－2025年3月)

2025年5月12日

マルハニチロ株式会社(TSE:1333)



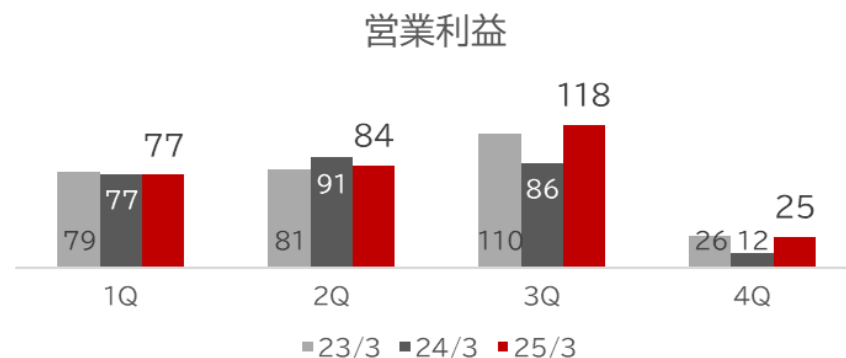
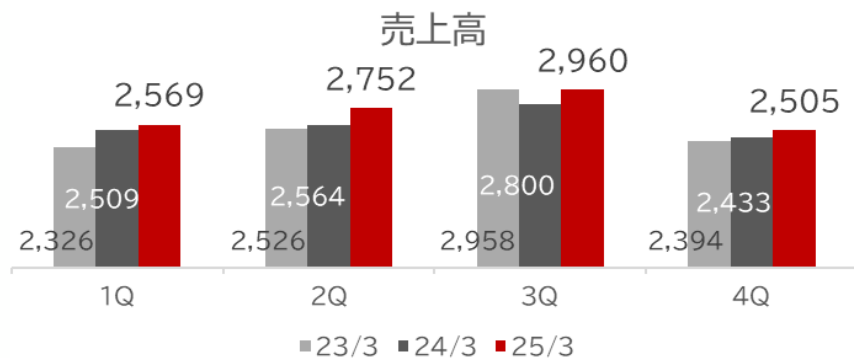
■2025年3月期 概況	3ページ
■2026年3月期 通期計画・施策	12ページ
■Appendix	22ページ

2025年3月期 概況

- 2025年3月期は増収増益。営業利益は経営統合以降で、**最高となる300億円超**を達成
- 前中期経営計画の指標はすべて達成(EBITDA516億円、ROIC4.3%など)

(単位: 億円)

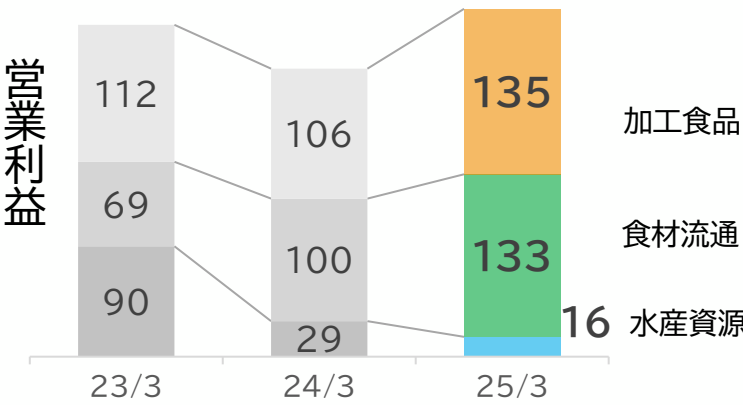
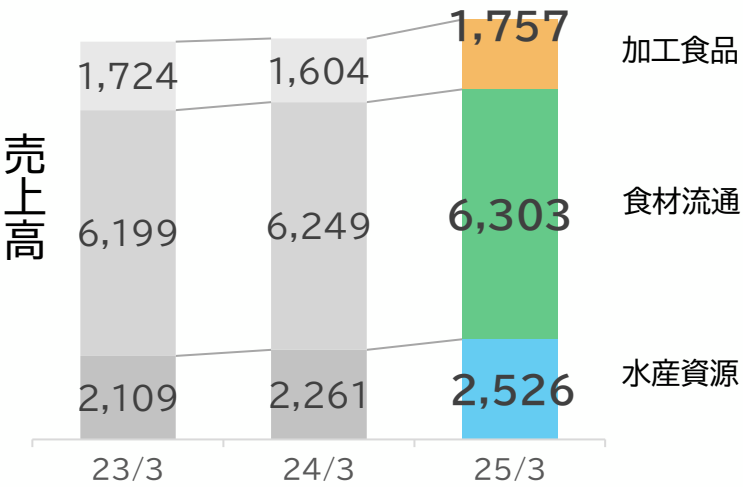
	25年3月期	24年3月期	前年対比	
			増減	増減率
売上高	10,786	10,307	480	+4.7%
営業利益 (営業利益率)	304 (2.8%)	265 (2.6%)	38	+14.5%
経常利益	323	311	11	+3.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	233	209	24	+11.6%
EBITDA	516	460	56	+12.2%
ROE(%)	10.7	10.8	△ 0.1	△0.9%
ROIC(%)	4.3	4.2	0.1	+2.4%



決算ハイライト② セグメント別概況



(単位:億円)



国内 164億円
海外 140億円
* 海外経常利益比率 44%

水産資源

増収減益(セグメント利益16億円 前年比△13億円)

北米の欧州事業が好調で増益確保も、北米スケソウダラ事業の相場軟調や養殖での原価上昇などがあり、全体で減益

食材流通

増収増益(セグメント利益133億円 前年比+33億円)

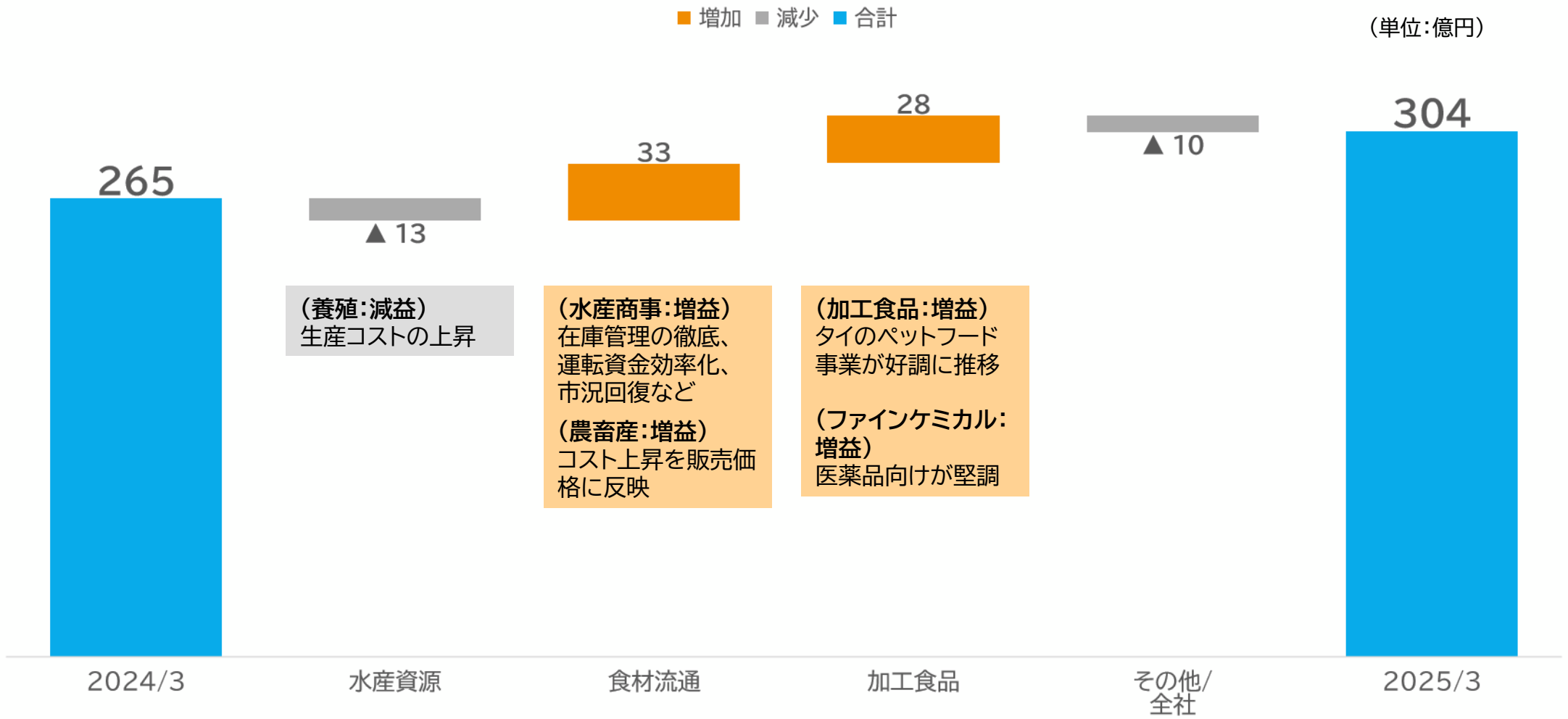
水産商事での在庫管理徹底や市況回復、農畜産の販売価格改定などが貢献し、33億円(33%)の増益

加工食品

増収増益(セグメント利益135億円 前年比+28億円)

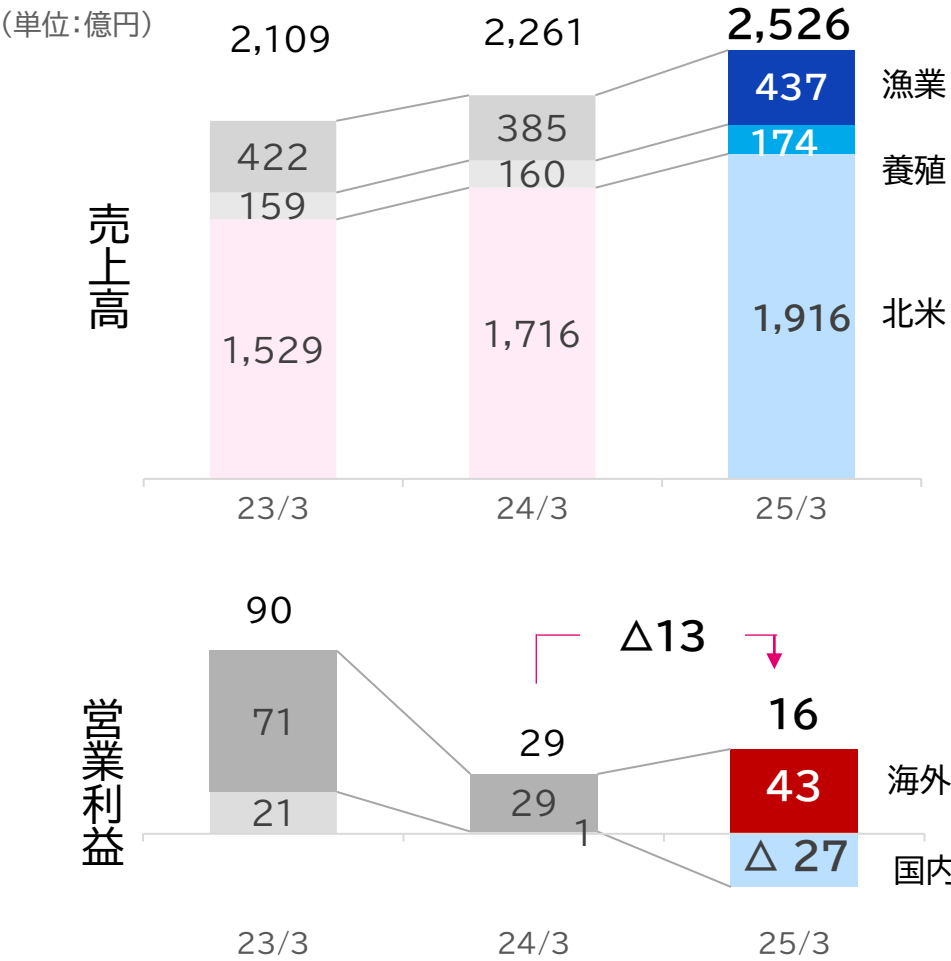
加工食品のペットフード事業(タイ)、ファインケミカルの医薬品向けが好調により、全体で28億円(27%)増益

営業利益の増減要因(前年対比)



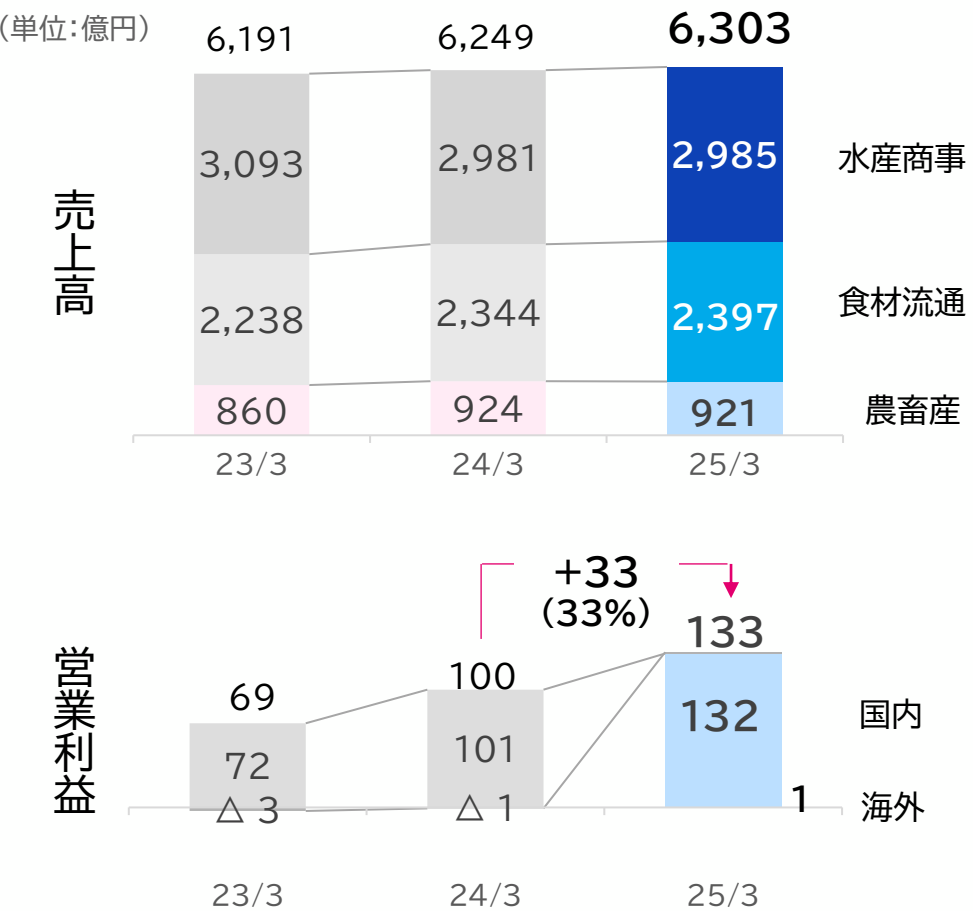
2025年3月期 概況:水産資源セグメント

北米の欧州事業が好調も、北米スケソウダラ事業の相場軟調や養殖での原価上昇などにより、全体で減益



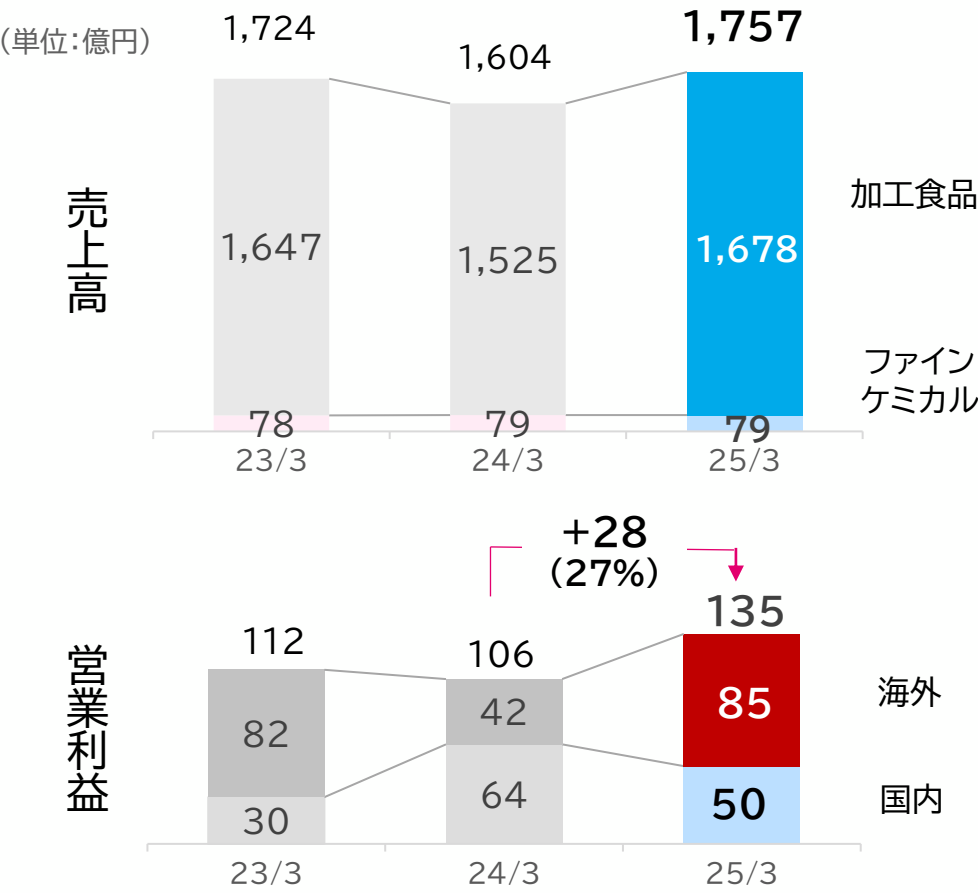
ユニット	今期の取組み／事業環境
漁業 (増収損益改善)	カツオ(ミクロネシア)及びクロマグロ(日本近海)の魚価下落やカラスガレイ(大西洋)の漁獲減の一方、メロ・エビ(オーストラリア)の堅調な販売やイカ・アジ・ホキ(ニュージーランド)などの漁獲増により、増収、損益改善。
養殖 (増収減益)	ブリ・カンパチの販売価格の上昇などにより増収も、高水温による成長遅れや飼料代などの高騰による原価上昇などにより、減益。
北米 (増収増益)	<北米> カニ類の取扱数量増などにより増収。一方、主力のスケソウダラのすりみ・フィレの相場は上昇傾向も、残渣から製造するミール、魚油の相場下落もあり減益。 <欧州> 高利益商材の販売に注力し、販売数量が拡大したことにより、増収増益。

水産商事での在庫管理の徹底や市況回復、農畜産の販売価格改定などが貢献し、全体で33億円(33%)増益



ユニット	今期の取組み／事業環境
水産商事 (増収増益)	適正な在庫管理の徹底・運転資金の効率化に加え、冷凍マグロの市況回復や、ホタテの販売好調もあり大幅増益。
食材流通 (増収減益)	グループ内の連携を強化し販路拡大に努めたほか、量販・外食・介護食チャネル向けの販売が堅調に推移し、増収。 一方、業務効率の改善や生産性向上に努めたものの、生産コスト増加分を吸収できず、減益。
農畜産 (売上前年並み増益)	輸入豚肉の産地価格の高騰や、円安の進行などがあるも、これらのコスト上昇を販売価格へ反映でき、増益。

加工食品のペットフード事業、ファインケミカルの医薬品向け販売の好調により、全体で28億円(27%)増益



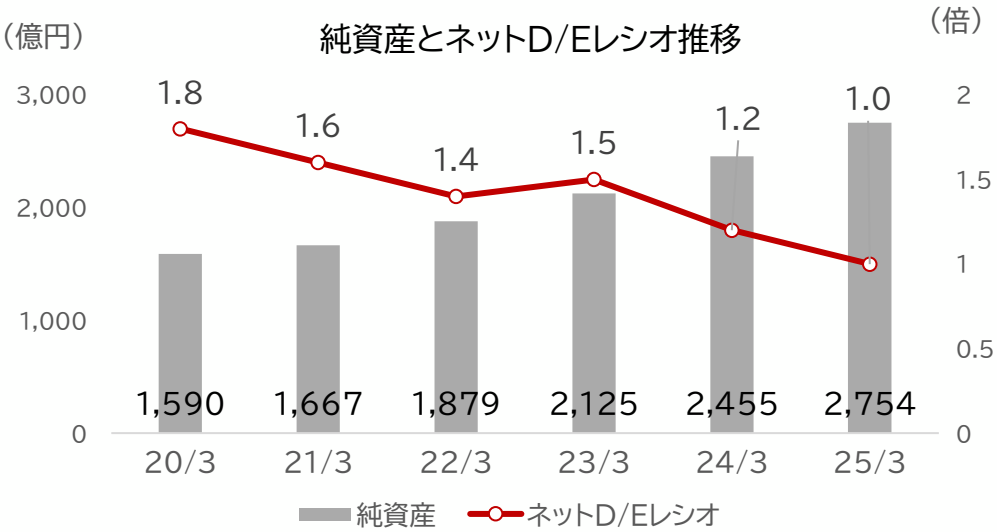
ユニット	今期の取組み／事業環境
加工食品 (増収増益)	主力商品の販売増加及び広告宣伝の強化、ペットフード事業の販売好調が売上に寄与。 また、ペットフード事業(タイ)の、主に北米向け販売が好調だったことにより、増収増益。
ファインケミカル (売上前年並み増益)	医薬品向けの販売が底堅く推移したことにより、増益。

連結貸借対照表

(単位: 億円)				
	25年3月末	24年3月末	増減	主な内容(前期末比)
流動資産	4,146	4,050	96	現預金(+113)、売上債権(△52)、 棚卸資産(+27)
固定資産	2,666	2,668	△ 2	有形固定資産(+60) 無形固定資産(△7) 投資有価証券(△81)
資産合計	6,812	6,718	94	
流動負債	2,369	2,730	△ 361	仕入債務(+12) 短期借入金(△344)、 コマーシャルペーパー(+50)
固定負債	1,689	1,534	155	長期借入金(+10)、社債(+150)
負債合計	4,058	4,263	△ 205	
株主資本	1,971	1,789	182	利益剰余金(+182)
その他包括累計	325	283	42	
非支配株主持分	458	384	75	
純資産合計	2,754	2,455	299	
負債純資産合計	6,812	6,718	94	
有利子負債	2,709	2,844	△ 134	
ネットD/Eレシオ	1.0倍	1.2倍	△ 0.2	
自己資本比率	33.7%	30.8%	2.9	

【資産の増加 +94億円】
・現預金の増加

【負債の減少 △205億円】
・有利子負債の減少



連結キャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	25年3月期	24年3月期	増減	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	392	536	△ 144	・税金等調整前当期純利益 (419) ・減価償却費(のれん含む) (190) ・投資有価証券売却損益(益:△) (△109) ・売上債権の増減額(増加:△) (79) ・棚卸資産の増減額(増加:△) (23) ・仕入債務の増減額(減少:△) (△9) ・法人税等の支払額 (△122)
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19	△ 189	170	・有形固定資産の取得による支出 (△190) ・投資有価証券の売却償還による収入 (152) ・利息および配当金の受取額 (27)
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 294	△ 329	36	・短期借入金の増減額(減少:△) (△211) ・長期借入金の増減額(減少:△) (△158) ・コマーシャルペーパーの増減額(減少:△) (50) ・社債の発行による収入 (149) ・配当金の支払額 (△50)
現金・現金同等物の 期末残高	484	369	115	—

2026年3月期 通期計画・施策

- 営業利益は企業変革費用50億円の支出があり減益となるも、当該影響を除くと増益計画

		25年3月期 実績(A)	26年3月期 計画(B)	28年3月期計画 (中計最終年度)	増減額 B-A	増減率
売上高	(億円)	10,786	10,800	11,500	14	+0.1%
営業利益	(億円)	304	270	400	△ 34	△11.1%
(営業利益率)	(%)	(2.8%)	(2.5%)	(3.5%)		
経常利益	(億円)	323	260	—	△ 63	△19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	233	175	—	△ 58	△24.8%
EBITDA	(億円)	516	500	640	△ 16	△3.1%
ROE	(%)	10.7	7.5	9.0	△ 3.2	△29.9%
ROIC	(%)	4.3	4.0	5	△ 0.3	△7.0%
ネットD/Eレシオ	(倍)	1.0	1.0	1.0	—	—
(ご参考) 1株当たり当期純利益	(円)	461.90	347.44	—	△ 114.46	△24.8%

企業変革費用* 約50億円を販管費計上

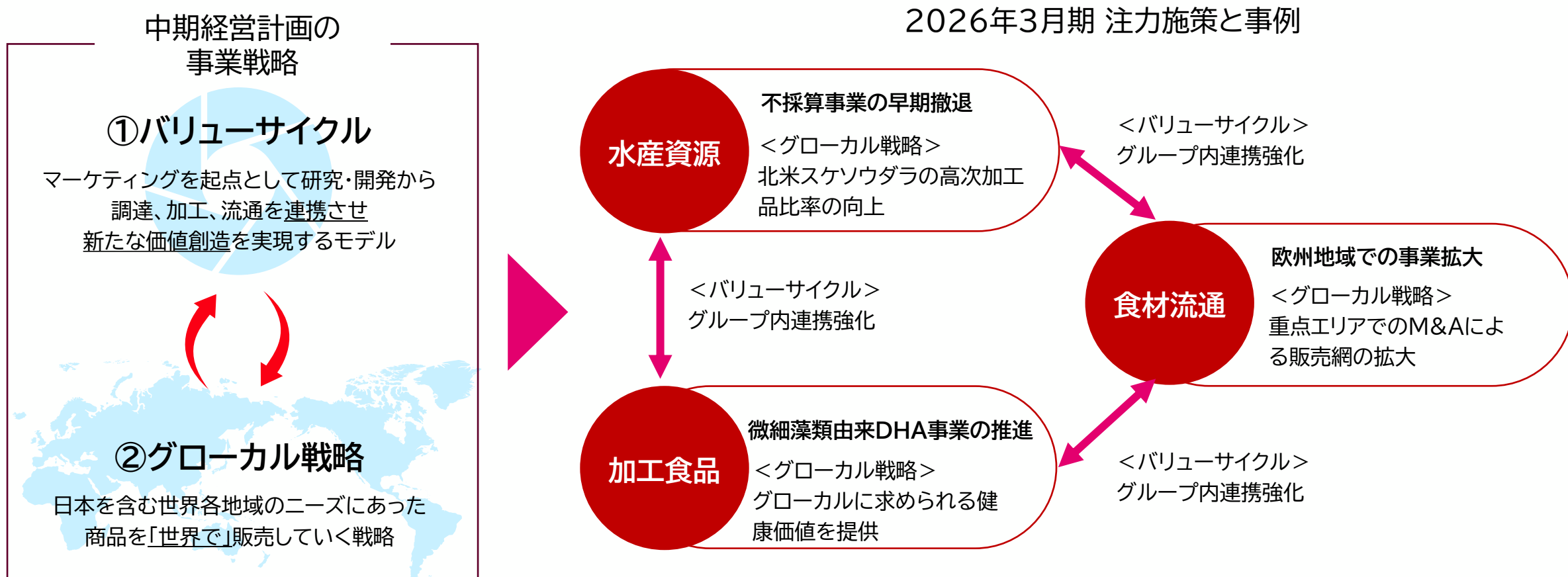
- ・CI変更(ブランディング・包材変更など)
- ・本社移転 など

*企業変革支出として今期含む3か年で150億円(投資50億円+費用100億円)を予定。将来的に大きく飛躍するための人的資本投資の一環。

- ・前期は、特別利益119億円。うち、「投資有価証券売却益」として109億円を計上
- ・今期は、特別利益70億円程度を想定

為替レート	25/3実績	26/3計画
米ドル	151.44円	158.18円
ユーロ	163.80円	164.92円
タイバーツ	4.31円	4.64円

● 中期経営計画で掲げた「バリューサイクル」「グローバル戦略」の具体的な施策をスタート



2026年3月期 通期計画・施策:セグメント別概況

- 全社は企業変革費用の支出により減益計画も、3セグメント合計では増益を計画

	25年3月期実績		26年3月期計画		
	(組織組替え前) A	(組織組替え後) B	C	増減額 C-B	増減率
売上高					
水産資源セグメント	2,526	1,276	1,348	72	+5.6%
食材流通セグメント	6,303	7,512	7,316	△ 196	△2.6%
加工食品セグメント	1,757	1,796	1,926	130	+7.2%
その他	200	202	210	8	+4.0%
合計	10,786	10,786	10,800	14	+0.1%
営業利益					
水産資源セグメント	16	△ 39	6	45	-
食材流通セグメント	133	179	152	△ 28	△15.6%
加工食品セグメント	135	140	128	△ 12	△8.6%
その他	20	23	△ 16	△ 39	-
合計	304	304	270	△ 34	△11.2%

<ポイント>

<組織改編>

水産資源セグメント所属の2社他を食材流通、加工食品セグメントへ移管

<水産資源>増益

不採算事業の早期撤退に加え、川下戦略の強化により増益を見込む

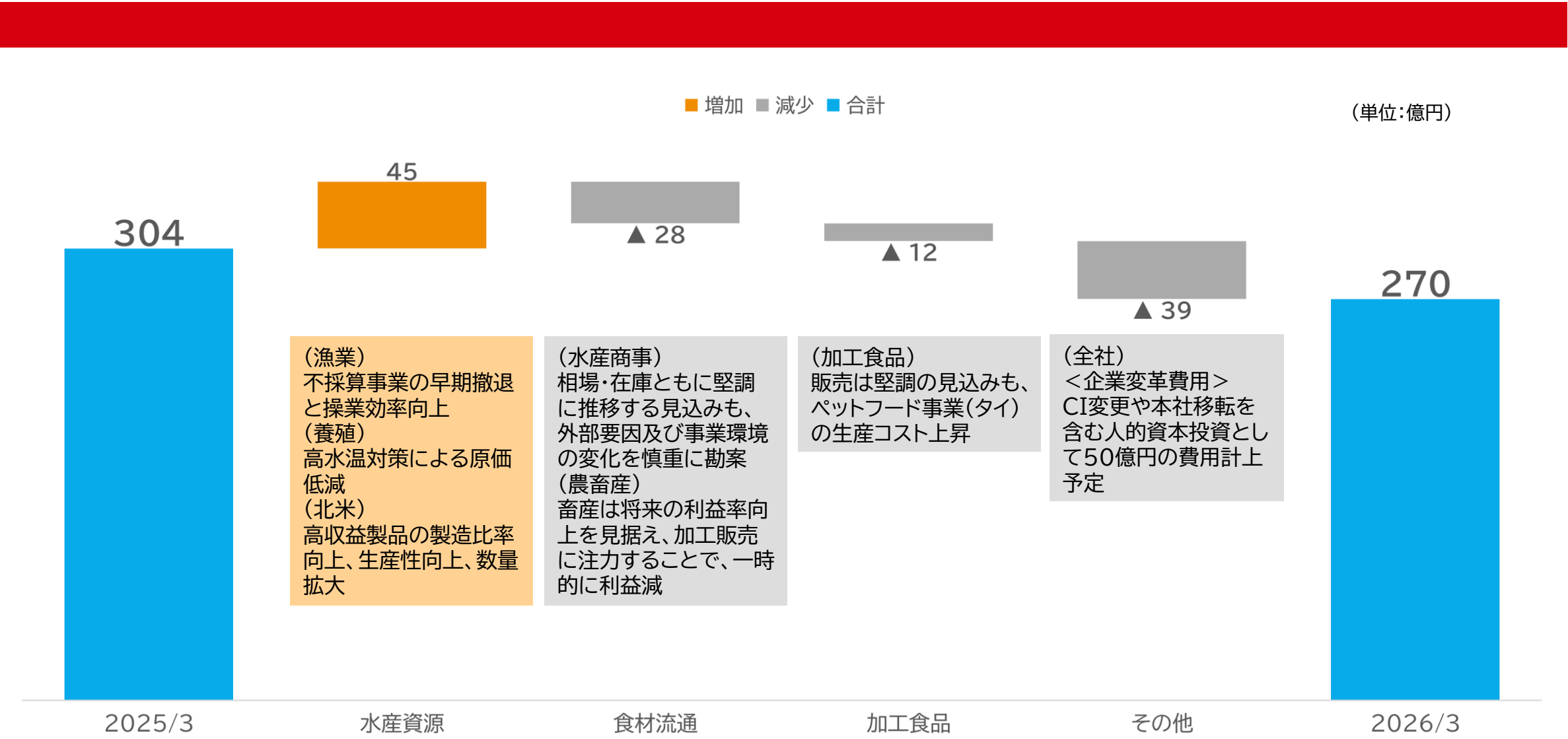
<食材流通>減益

水産商事は外部要因及び事業環境の変化を慎重に勘案。また、畜産は将来の利益率向上を見据え、加工販売に注力することで一時的な利益減を見込み、減益予想

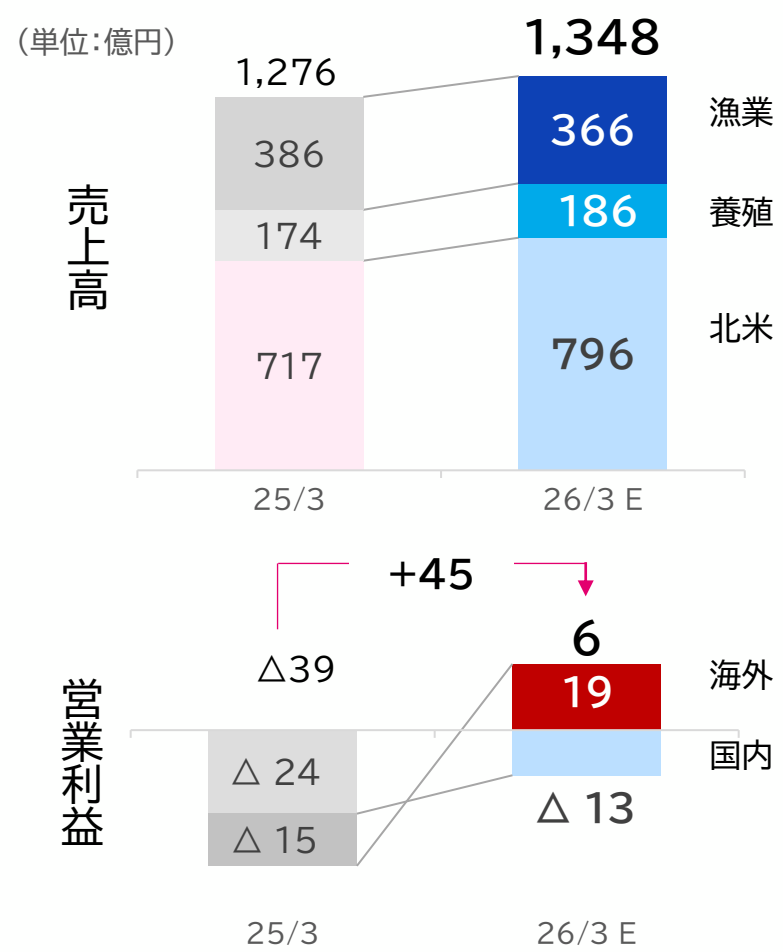
<加工食品>減益

販売は堅調の見込みも、海外事業での生産コスト上昇を加味し、減益予想

営業利益計画の増減要因(前年対比)

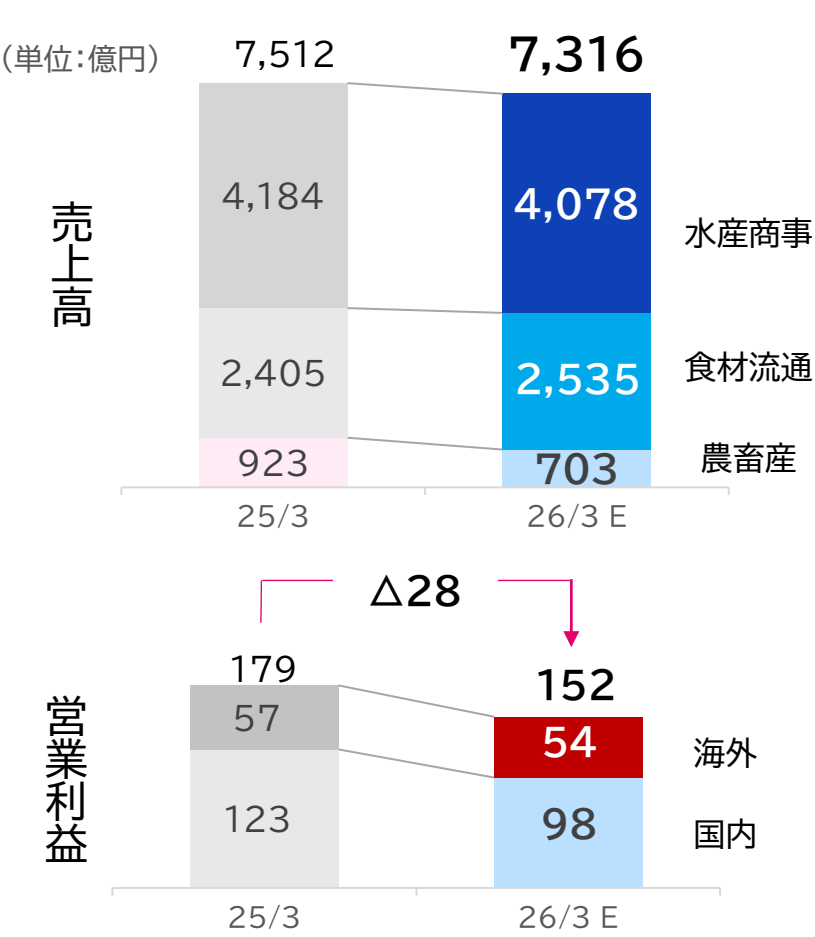


不採算事業の早期撤退を含む川上の構造改革に加え、川下戦略の強化により増益(45億円)を見込む

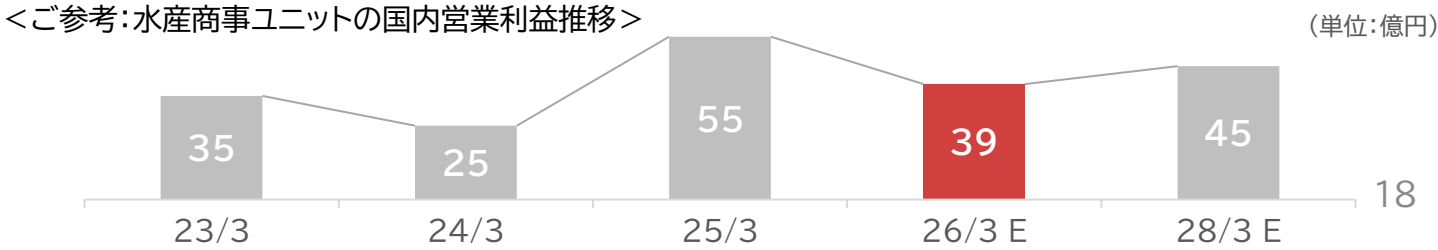


ユニット	今期の取組み／事業環境
漁業	<取組み> ・不採算事業の早期撤退、船の選択と集中を推進 ・新船投入により操業効率を改善 <事業環境> ・燃油など操業コストは高止まりを見込む
養殖	<取組み> ・高水温対策をはじめとした原価低減策を推進 ・アジアを中心とした輸出拡大に注力 <事業環境> ・生産コストは依然高水準を見込むもブリ・カンパチ相場は回復
北米	<取組み> ・高収益製品の製造比率を上げ、生産性の向上と数量拡大を目指す ・生産拠点統合など生産コスト低減は徐々に効果あり <事業環境> ・スケソウダラ相場は改善傾向

水産商事は、外部要因及び事業環境の変化を慎重に勘案。また畜産での一時的な利益減もあり、減益計画

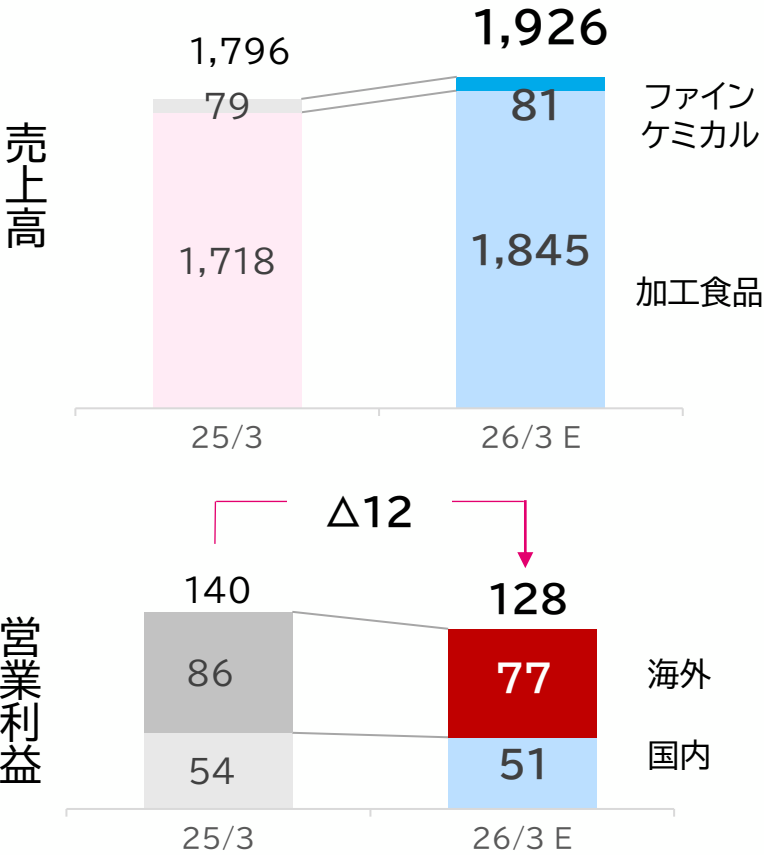


ユニット	今期の取組み／事業環境
水産商事	<取組み> ・グループ内連携の更なる加速と、欧州では事業領域と販売拡大を目指す <事業環境> ・国内、欧州とも相場・在庫共に堅調を見込むも、関税影響による相場動向を慎重に見極める必要あり
食材流通	<取組み> ・グループ内連携の強化に加え付加価値商品の生産・販売両面での効率化を継続 <事業環境> ・生産コストは依然、高値水準を見込む
農畜産	<取組み> ・高付加価値商品の加工・販売へ注力し利益の質を変革。グループ内連携を強化し販路拡大を目指す <事業環境> ・調達コストは高値水準が継続、国内市場は低価格志向



国内・海外ともに、販売は堅調の見込みもペットフード事業(タイ)の生産コストの上昇を加味して減益予想

(単位:億円)

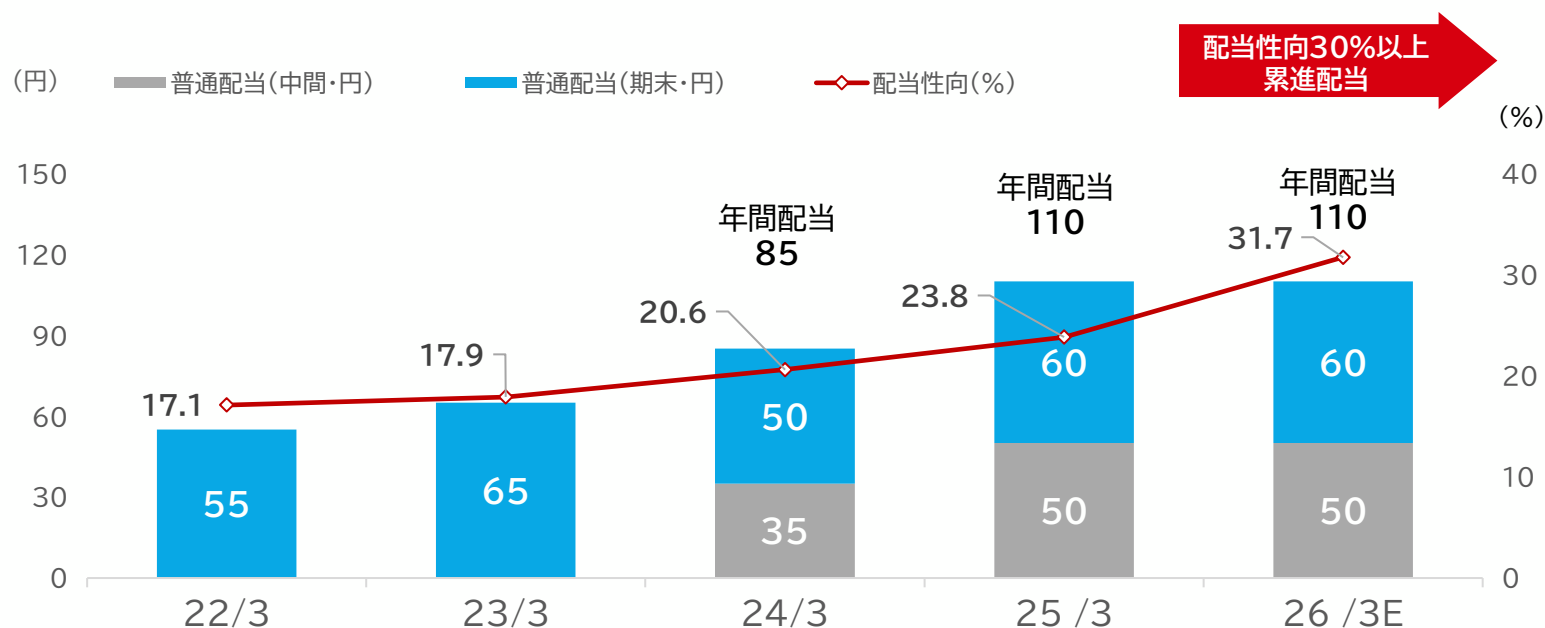


ユニット	今期の取組み／事業環境
加工食品	<取組み> ・国内: 広告宣伝強化、2025年2月以降に実施した価格改定により生産コスト吸収 ・海外: 商品開発や販路開拓による販売増加、生産性向上 <事業環境> ・国内: 加工食品の販売は堅調を維持 ・海外: 生産コストの上昇を見込む。販売は堅調に推移の見込みも、米国関税による影響を注視する必要あり
ファインケミカル	<取組み> ・医薬原薬事業の拡大 ・機能性表示取得による既存製品の深掘り ・微細藻類由来DHA事業の推進 <事業環境> ・主要顧客の在庫調整やサプリメントなど健康食品の需要低下

配当方針

株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題の1つと位置づけ、現中期経営計画期間は、配当性向30%以上を前提とした累進配当を基本方針とし、財務基盤の安定と持続的な企業成長の両立を図りながら、安定的かつ継続的な利益還元に努める。

- 2025年3月期: 期末配当は60円、年間配当110円を予定(配当性向23.8%)
- 2026年3月期: 中間配当50円、期末配当60円、年間配当110円を見込む(配当性向31.7%)



政策保有株式 縮減の進捗

純資産÷期末残高

2024年3月期末: 約14.7%
2025年3月期末: 約10.4%

引き続き縮減に努め、獲得した資金は企業変革支出(人的資本投資)や成長投資の一部に充当する

■2026年3月期設備投融資計画 約600億円

定常投資

養殖沈下式生簀の追加投入、生産ライン増強など

オーガニック成長投資

漁業新船造船、欧州シーフードコネクション追加出資、DX投資、企業変革投資など

インオーガニック成長投資

欧州冷凍水産加工会社M&A、北米冷凍食品市場への参入、微細藻類由来DHA事業の拡大など



Van Der Lee Seafish Beheer B.V.
(VDLグループ)本社

■成長投資の事例

シーフードコネクショングループ*の事業規模拡大

*欧州各国に販売拠点や生産拠点を構え、冷凍水産物販売を手掛ける欧州事業の要

- ①Seafood Connection Holding B.V.(オランダ)株式の追加取得(70%→80%)
- ②Van Der Lee Seafish Beheer B.V.(オランダ・冷凍水産加工会社) 連結子会社化
- ③King Fish Selection B.V.(オランダ)株式の追加取得(51%→80%)

<投資理由>

- ✓ グローバルな川下戦略強化の一環
- ✓ 当期純利益の向上を通じて、ROE向上をめざす



VDLグループが手掛ける最終製品の例



Appendix

連結損益計算書

(単位:億円)

	25年3月期	24年3月期	増減
売上高	10,786	10,307	480
売上原価	9,330	8,969	362
売上総利益	1,456	1,338	118
販売費・一般管理費	1,152	1,073	79
営業利益	304	265	38
営業外収益	69	87	△ 18
営業外費用	51	41	9
経常利益	323	311	11
特別利益	119	96	24
特別損失	22	48	△ 25
税金等調整前当期純利益	419	359	61
法人税等	121	112	10
非支配株主に帰属する当期純利益	66	39	27
親会社株主に帰属する当期純利益	233	209	24

<営業外収益の内訳>

・為替差益 17億円他

<特別利益の内訳>

・投資有価証券売却益 109億円他

セグメント・ユニット別 実績(2025年3月期 組織体制)



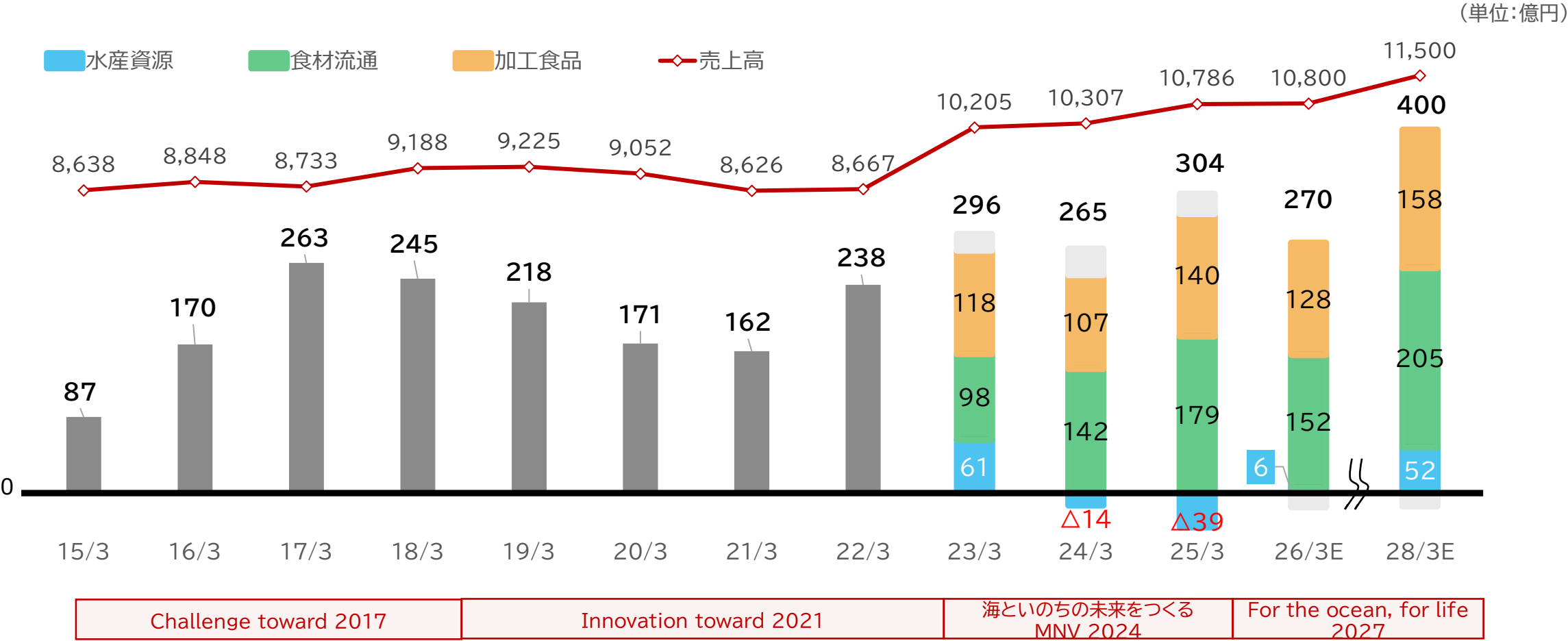
セグメント	ユニット	売 上 高				営 業 利 益						経 常 利 益			
		25年3月期	24年3月期	前年対比		25年3月期		24年3月期		前年対比		25年3月期	24年3月期	前年対比	
				増減	増減率	営業利益率	営業利益率	営業利益率	営業利益率	増減	増減率			増減	増減率
水産資源	漁業	437	385	51	+13.3%	△ 9	—	△ 10	—	0	—	1	△ 4	5	—
	養殖	174	160	14	+8.4%	△ 14	—	7	4.4%	△ 21	—	△ 7	15	△ 22	—
	北米	1,916	1,716	200	+11.6%	40	2.1%	32	1.9%	8	+24.4%	18	31	△ 13	△41.5%
	セグメント計	2,526	2,261	265	+11.7%	16	0.6%	29	1.3%	△ 13	△45.8%	11	42	△ 30	△72.5%
	(国内 内訳)	652	649	3	+0.4%	△ 27	—	1	0.1%	△ 27	—	△ 19	12	△ 32	—
	(海外 内訳)	1,874	1,612	262	+16.3%	43	2.3%	29	1.8%	14	+48.2%	31	29	2	+5.6%
食材流通	水産商事	2,985	2,981	4	+0.1%	62	2.1%	25	0.8%	37	+149.7%	61	27	34	+122.1%
	食材流通	2,397	2,344	53	+2.3%	53	2.2%	62	2.6%	△ 8	△13.5%	56	70	△ 14	△20.0%
	農畜産	921	924	△ 4	△0.4%	18	1.9%	13	1.4%	5	+33.8%	21	19	1	+7.1%
	セグメント計	6,303	6,249	54	+0.9%	133	2.1%	100	1.6%	33	+33.3%	138	117	21	+18.0%
	(国内 内訳)	6,265	6,214	51	+0.8%	132	2.1%	101	1.6%	31	+30.2%	136	116	19	+16.6%
	(海外 内訳)	38	35	3	+9.6%	1	3.5%	△ 1	—	3	—	2	0	2	+500.0%
加工食品	加工食品	1,678	1,525	153	+10.0%	122	7.3%	95	6.2%	27	+28.8%	132	91	41	+44.6%
	ファインケミカル	79	79	0	+0.1%	12	15.8%	11	14.6%	1	+8.4%	12	11	1	+9.5%
	セグメント計	1,757	1,604	153	+9.6%	135	7.7%	106	6.6%	28	+26.6%	144	102	42	+40.8%
	(国内 内訳)	1,174	1,132	42	+3.7%	50	4.3%	64	5.7%	△ 14	△22.3%	47	66	△ 18	△28.1%
	(海外 内訳)	583	471	112	+23.7%	85	14.5%	42	8.9%	43	+101.7%	97	37	60	+164.0%
物流		182	176	6	+3.1%	23	12.9%	23	13.1%	0	+1.4%	21	22	△ 1	△3.1%
その他		19	17	2	+11.1%	15	76.8%	12	69.6%	3	+22.6%	15	12	2	+19.2%
全社		—	—	—	—	△ 18	—	△ 5	—	△ 13	—	△ 6	17	△ 23	—
合計		10,786	10,307	480	+4.7%	304	2.8%	265	2.6%	38	+14.5%	323	311	11	+3.7%
(国内 内訳)		8,275	8,172	103	+1.3%	164	2.0%	187	2.3%	△ 22	△12.0%	181	235	△ 54	△22.9%
(海外 内訳)		2,511	2,134	377	+17.7%	140	5.6%	79	3.7%	61	+77.3%	141	76	65	+86.2%

(単位:億円)

【参考】セグメント・ユニット別 実績・計画(2026年3月期 組織体制)

	売 上 高				営 業 利 益				(単位:億円)
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)	
漁業ユニット	383	386	366	364	△ 11	△ 12	10	22	
養殖ユニット	160	174	186	193	7	△ 11	△ 2	6	
北米ユニット	654	717	796	873	△ 10	△ 16	△ 1	24	
水産資源セグメント 計	1,197	1,276	1,348	1,430	△ 14	△ 39	6	52	
(国内 内訳)	649	603	661	688	1	△ 24	△ 13	6	
(海外 内訳)	547	673	687	742	△ 15	△ 15	19	46	
水産商事ユニット	4,043	4,184	4,078	4,354	67	111	93	116	
食材流通ユニット	2,344	2,405	2,535	2,684	62	54	54	76	
農畜産ユニット	924	923	703	779	13	15	5	13	
食材流通セグメント 計	7,311	7,512	7,316	7,817	142	179	152	205	
(国内 内訳)	6,214	6,275	6,030	6,302	101	123	98	130	
(海外 内訳)	1,097	1,237	1,286	1,515	41	57	54	75	
加工食品ユニット	1,527	1,718	1,845	1,943	96	128	117	145	
ファインケミカルユニット	79	79	81	98	11	12	11	13	
加工食品セグメント 計	1,606	1,796	1,926	2,041	107	140	128	158	
(国内 内訳)	1,132	1,211	1,289	1,368	64	54	51	62	
(海外 内訳)	474	585	637	673	43	86	77	96	
その他	193	202	210	213	30	23	△ 16	△ 15	
合計	10,307	10,786	10,800	11,500	265	304	270	400	
(国内 内訳)	8,172	8,275	8,172	8,560	187	164	110	183	
(海外 内訳)	2,134	2,511	2,628	2,941	79	140	160	217	

【参考】売上高・営業利益推移グラフ(2026年3月期 組織体制)

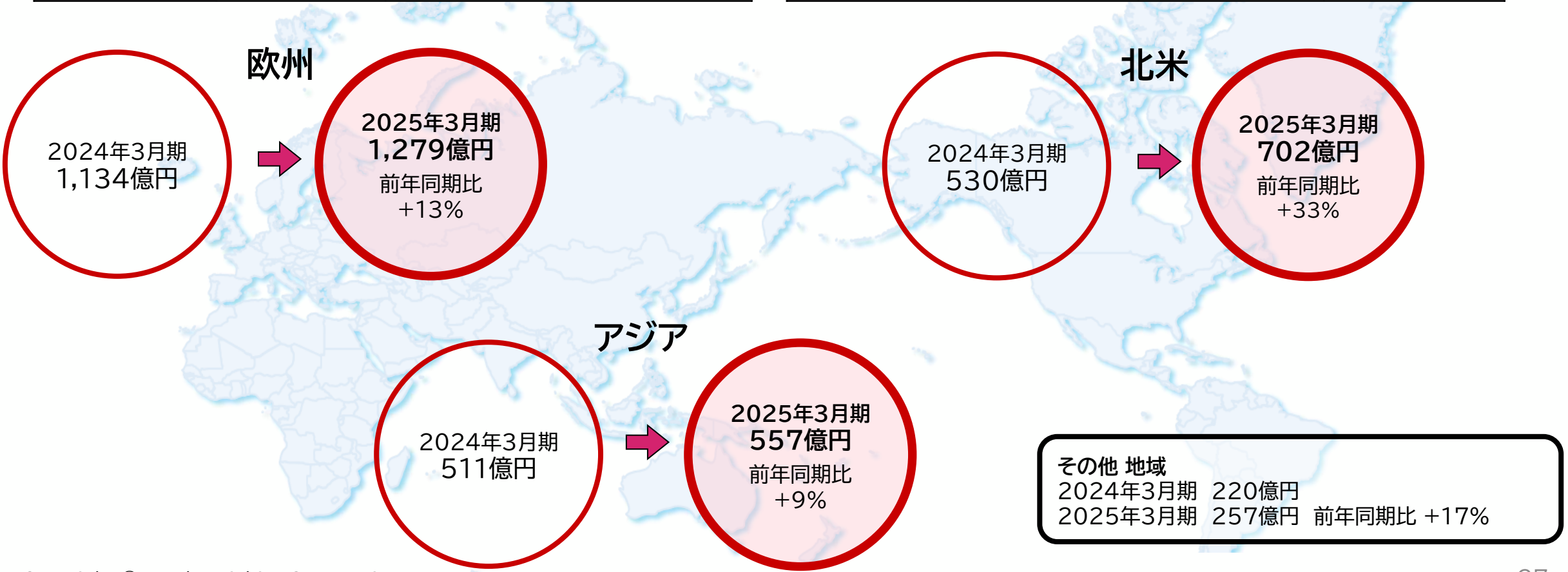


※組織組換えにより、2024年3月期以降の営業利益を再試算

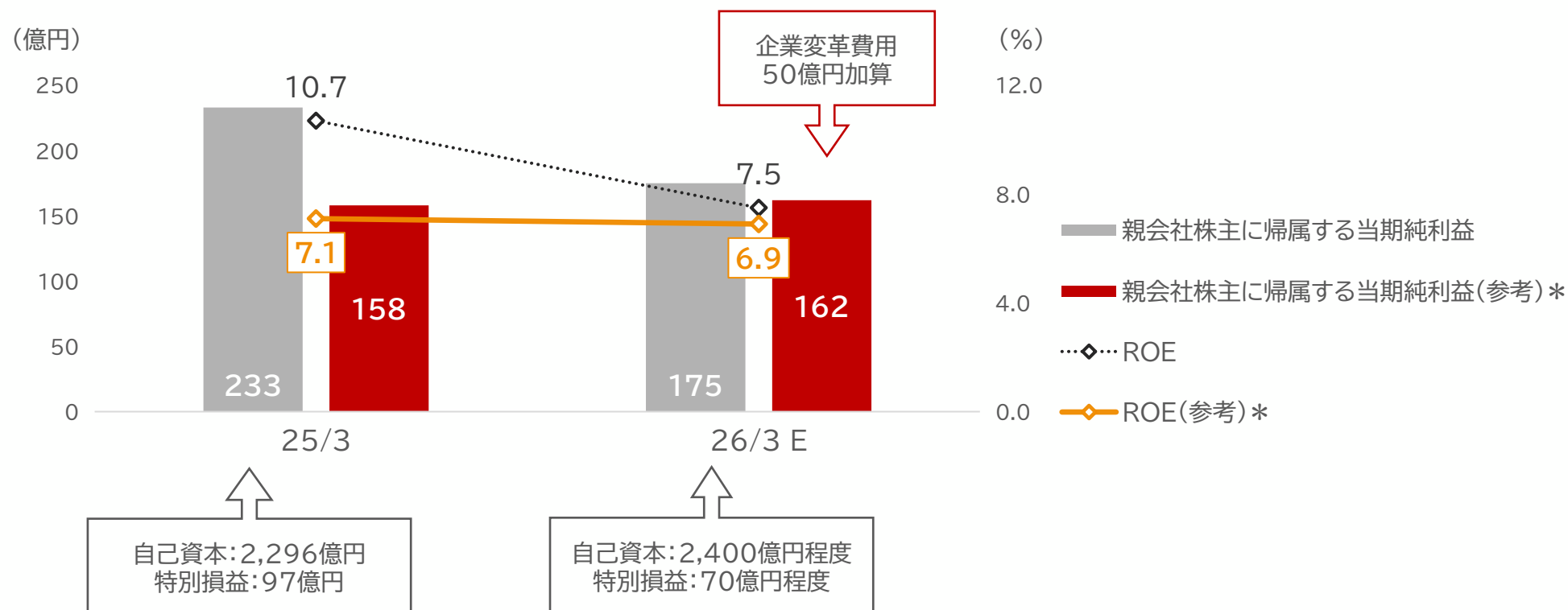
2025年3月期 海外売上高

海外売上高	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 (中計当初計画)
	2,395億円	2,795億円	2,150億円

海外売上高 比率	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 (中計当初計画)
	23.2%	25.9%	22.4%

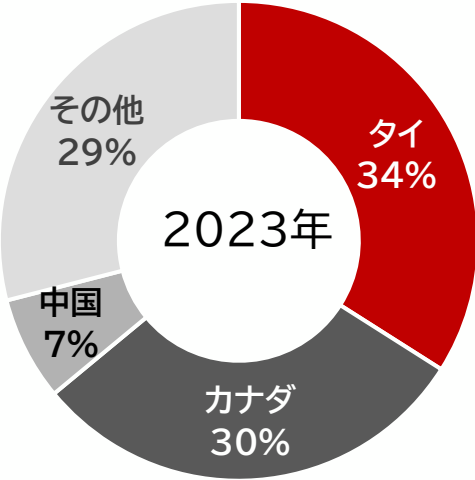


【参考】親会社株主に帰属する当期純利益及びROE



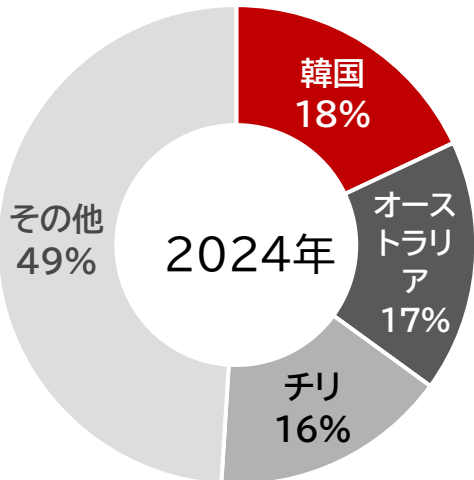
* 参考: 親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益を除き、税金を考慮して算出。ROEは上記に準じて試算したもの

■米国におけるペットフード輸入国



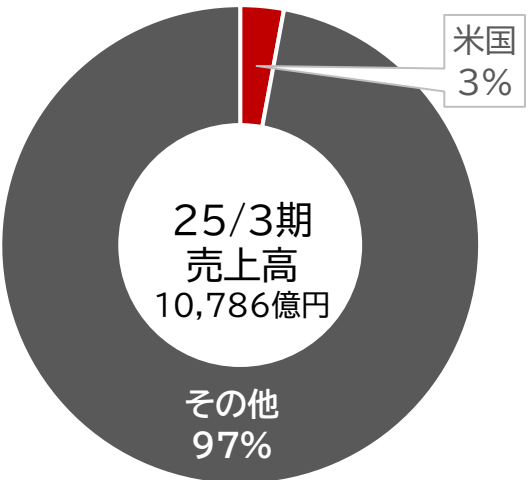
出所:World Integrated Trade Solution

■米国におけるメロ輸入国

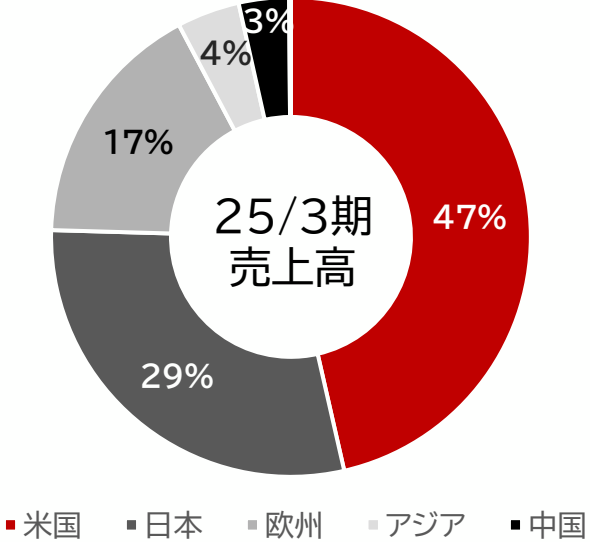


出所:United States International Trade Commission DataWeb

■当社グループの米国向け輸出



■当社グループ米国現地法人からの仕向地別売上高



Thank You



MARUHA NICHIRO

For the ocean, for life

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。